

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時:令和 8 年 7 月 3 日(金) 8:45～10:15

10:35～12:05

13:45～15:15

場 所:松江市立母衣小学校(図工室)

対 象:6年生78名

指導者:6年生担任

講 師:埋蔵文化財調査センター職員2名

1. 主 題 古代の人々の生活にふれよう ～勾玉づくりに挑戦しよう～

2. ねらい

○古代の歴史や遺跡について知り、文化財に対する興味や関心を高める。

○勾玉作りを体験することによって、古代の人々の生活の様子や物づくりの技術について知る。

3. 展開

学習活動	指導者の支援及び留意点
1. 本時のねらいと学習内容を確認する。(3分) ※講師の方の紹介をする。	・本時の学習に見通しをもたせる。
2. 古代出雲について学ぶ。(20分)	・実際に出土した品の実物や写真を見せてもらうことによって、当時の人々の暮らしや技術をイメージする。
3. 勾玉について学ぶ。(10分) ○勾玉の由来や作り方 ○作業手順の説明	・勾玉がどうして作られたのか、また、勾玉作りの工程を学ぶことによって、勾玉に対する興味をもたせる。
【休憩】5分	
4. 勾玉作り体験をする。(45分) ○作業をする。 ○片付けをする。	・道具の使い方に気を付けて、けがのないように行う。 ・机間指導をしながら、児童を補助する。
5. 学習のまとめをする。(5分) ○質疑応答、感想を発表する。(数名) ※授業後アンケートを記入する。	・質疑応答があった場合、講師の方に回答してもらう。